

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321

会長：鈴木廣利 副会長：村松英昭 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1672回

<ソング> 我等の生業

<ソングリーダー> 松葉 義之君



2005-2006年度 RIテーマ

超我の奉仕

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



アジサイ

写真提供：事務局

■ 会長挨拶

鈴木 廣利君

本格的な梅雨の時期を迎えました。北海道は低気圧と高気圧が交互に通り周期的に天気が変わっておりますが、当地では6月に入り雨の日が少なくなった感じがします。

多分これから東日本から西日本にかけて梅雨前線が停滞し、曇りや雨の日が多くなると考えられます。ぬれた路面はスリップしやすいのでこれからの車の運転は普段以上の注意が必要になります。

今日はスリップについて話をしてみたいと思います。スリップはタイヤの溝がすり減り、路面との間の雨水等を効率よく逃がせなくなった時に起こります。このため、タイヤの使用限度は、溝の深さが残り1.6ミリになった時までと法律で決められています。

路面がぬれている時に時速80kmで走行している車がブレーキを踏んでから止まるまでの距離を比べると溝の深さが1.6ミリを下回るタイヤは新品と比べて倍近くの差があり、止まるまで80～100m走ってしまいます。その為、雨の日のすり減ったタイヤでの走行は大変危険です。なおタイヤには1.6ミリまですり減ると表面にスリップサインと云う確認部分が表れるようになっていきますので、注意して下さい。これから多くなる雨の日の運転には、乗る前の点検は必ず行っておきたい事項の一つです。

さて、毎日TVでサッカーW杯の実況が報じられております。12日の夜は夜半までオーストラリア戦を観ておりました。初戦で勝ったチームが

決勝進出をした確立は87%、逆に初戦で破れたチームの決勝進出の確立はわずか4%に過ぎないと過去2大会の結果が出ております。

苦しみの中で決めたアジア予選を思い出してあと二試合残っているクロアチア戦、ブラジル戦を頑張ってもらいたいと思います。可能性のある限り全力を尽くす事がベストであり、その事に挑戦する姿勢が一番たのしく輝かしい勝利につながるのではないのでしょうか。

■ 幹事報告

松葉 隆夫君

- ・第2620地区2006～2007年度国際奉仕・世界社会奉仕委員長より「オイスカ植林フォーラムを活用してのWCS活動を」の案内が届いております。
- ・第8回ロータリー韓日親善会議ご参加へのお願いがロータリー日韓親善会議委員会より届いております。
- ・藤枝市国際友好協会より総会資料が届いております。
- ・白山ロータリークラブよりメールアドレス変更の案内が届いております。

■ 出席報告

後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
27 / 41 65.85%	30 / 41 73.17%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ノ谷君 ○酒向君 ○仲田廣君 ○増田君
宮川君 青島彰君 浅川君 飯塚君 板倉君

桜井富君 鈴木晶君 鈴木舜君 仲田晃君
望月志君

(2) メークアップ者

岩田 規君(藤枝南) 村松 宏一君(藤枝南)
鈴木 廣利君(藤枝南) 櫻井 龍太君(藤枝南)

■ スマイルBOX 後藤 功君

・拡大委員長として結果をだせずWサッカー、日本
対オーストラリア戦とおなじ成績で申しわけあ
りませんでした。 小西 啓一君

スマイル累計額 689,680円

■ 委員会卓話

広報・雑誌委員会

栗原 毅君

『クラブ・リーダーシ
ップ・プランについて』

2004年11月、R

I 理事会はCLPを採択した。そのCLPとは
「我々のクラブは終息の淵にあったが、クラブ・
リーダーシップ・プランが蘇生の妙薬となった」
と云う第二世紀においてロータリーが安定・成
長・成功を遂げる為のプランで、すでに世界中
のクラブによって成功が実証されていると公式文書
の中に書かれています。

私はロータリーには大切なものがあると思います。
佐藤千寿PG著者の不易流行 ロータリーの来し
方・行く末 事務局にあります。是非一読して下
さい。

クラブ会報委員会

成瀬 弘明君

『藤環協の紹介』

・藤環協の概要

1. 正式名称 藤
枝市環境保全協議会

2. 目的

この会は、地域の環境保全の推進を図るた
め、環境諸問題の調査研究、情報の交換、
公害防止技術の研さん等に努めると共に、
環境基本法の趣旨に基づき、市及び事業所
の協力のもとに地域の環境を保全すること
を目的とする。

3. 歴史 95年度に発足し12年目



4. 組織 藤枝市、藤枝市内の事業所並びに
団体 現在16事業所

事務局 藤枝市環境経済部生活環境課

・活動概要

広報事業部・研修会事業部・社会活動事業
部の3事業部制

<活動例>

子供の頃から環境に興味を持ってもらおうと

1. 環境学習ビデオの市内小中学校への寄贈

2. 環境を考える小中学校体験ツアー

会員事業所の施設見学会

簡単な水質測定

直接、地域に貢献できる活動

3. 清掃美化活動

瀬戸川河川敷の清掃活動

4. 環境講演会

5. 視察研修会

県内及び隣接県の事業所等の見学

6. 会員事業所の成果事例紹介

省エネ、廃棄物削減等大きな成果をあ
げた具体的事例の紹介

・ワンガリ・マータイさんの紹介

1. アフリカ人女性として2004年にノー
ベル平和賞を受賞

2. ケニア人女性

3. 「グリーンベルト運動」という植樹運動を
通して、環境保護・生活レベルの向上・更
には平和な社会作りに取り組む。

1977年にNGO「グリーンベルト運動」を
創立。農村女性に植樹を通じた社会参加を呼びか
け、3000万本の苗木を植樹。アフリカの大地
に緑を取り戻す、森林面積を1,7→10%に。

マータイさんが2005年来日した際、「もっ
たいない」という日本語を知って感動。「モッタ
イナイ」を国際語として広げようと世界各地で呼び
かけている。

岩崎 四郎君

最後の例会という
ことで、お話をされま
した。



(担当/望月俊)